

となりの PTA



清須・
きよす 清洲中PTA



学期始めの1週間、挨拶運動を実施し、生徒たちと交流をします。



役員会では、委員会の打ち合わせ、学校の現状報告・意見交換を行います。



委員会は体育館で感染症対策を徹底し、議題の提案・承認をしました。

会員の皆様との連携を目ざして

新型コロナウイルス感染症における状況がめまぐるしく変化する中、PTA活動の実施に向けて模索しています。昨年度は挨拶運動や夏休みの街頭指導、親子除草や各種研修会、「あいち朝日遺跡ミュージアム」における社会見学など、有意義で充実した活動や研修を実施する予定でした。しかし、コロナ禍において全ての活動が中止になってしまいました。それでも会員の皆様との連携の重要性と必要性から、今年度は対面による役員会・委員会と挨拶運動を、

感染症対策を徹底したうえで実施しています。

役員会は七名、委員会は六十九名と大所帯となることから今年度は体育館のアリーナでゆったりと間隔をとったり、しっかりと換気をしたりして、安心・安全な運営で実施しています。また、挨拶運動についても多くのかたにご参加をいただき、生徒たちとの交流を図っています。

今後さまざまな社会情勢を考慮しながら、有意義なPTA活動を実施していけるよう努めていきます。

学校 DATA

所在地●清須市一場695 生徒数●650人 周辺環境●清須会議で知られた「清洲城」をはじめ「あいち朝日遺跡ミュージアム」「清洲宿本陣跡」を有し、歴史のいぶきを感じられる町を学区としている。学校から名古屋駅まで7kmと近く、大変交通の便のよい町である。

校区コミュニティのかたがたも茶摘みに参加してくれます。



となりの
PTA



田原・
どうほ
童浦小PTA

みんなで茶摘み「若葉集会」

童浦小学校では、毎年四月に若葉集会という行事を行っています。若葉集会では、全校児童とともに、PTA委員、校区コミュニティ、保護者が協力してお茶の若葉を摘みます（今年度はコロナ対策のため全校児童とPTA委員のみ参加）。機械を使って若葉を摘むと固い葉や枝が混ざってしまうのですが、若葉だけを手で一枚ずつ摘んでいくことで、若葉のみの茶葉を生成することができます。それは機械摘みの十倍ほどの価値がある茶葉となります。



● 児童が集めた茶葉をPTA会長が集約します。

PTAの皆さんは、体力を生かして、若葉の袋詰めや運搬作業をしてくれまう。一袋三十キログラム以上ある袋を幾つも運び、今年度は合計三百四十キログラムほどの若葉を収穫できました。

また、PTA委員の皆さんは若葉集会の時だけでなく、月に一回程度茶園に出かけ、除草作業をしてくださっています。そうして年間を通して作られた茶葉は、全校児童に配られます。この伝統ある若葉集会を、今後も続けていきたいと思っています。



● たくさんの茶葉を摘むことができ、子どもたちは大喜びです。

学校 DATA

所在地●田原市浦町米山64の1 児童数●420人 周辺環境●愛知県最南端の渥美半島^{あつみ}に位置する「常春」の町にある学校。田原市内では最も児童数が多く、活気にあふれている。近くにある笠山^{かさやま}では、校区コミュニティ、PTA、学校が一体となり、「だでのんまつり」と呼ばれるお祭りを開催している。